

同窓会報

発行所
倉敷市有城787
岡山学院大学・
岡山短期大学同窓会
TEL: 086-428-2651
発行日 令和元年5月

巻頭言

大学のあり方

岡山学院大学学長
岡山短期大学学長
岡山学院大学・岡山短期大学同窓会名誉会長

原田博史

同窓生の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、母校の発展のためにご支援ご協力を賜り誠に有り難く厚くお礼申し上げます。

はじめに、本学のウェブ公式サイト (<https://owc.ac.jp/>) を PC でもスマートフォンでも閲覧できるようにリニューアルしたことをお知らせします。同サイトには、学長だよりや図書館だより、授業のショットとその内容や学生の課外活動などをタイムリーにお知らせする Facebook、twitter、Instagram などの SNS もリンクしています。

本学の公式ホームページを 1996 年 7 月に開設してからこの度のリニューアルサイトを公開するまでの 22 年間、私が各種のメンテナンスやアップデートを担当してきましたが、これを機に原田俊孝学園主事と交代することができました。今は、アップデートの情報や SNS の学長だよりの情報を集めて学園主事に提供しています。是非とも同窓生諸氏のフォローをお願いします。



さて、今回の同窓会報は「大学のあり方」と題して、私が本学の管理運営に際して心がけてきたことについて述べたいと思います。また、ここで言う大学は学校教育法第一条に規定される大学で、岡山学院大学及び岡山短期大学の共通のことです。

第一に上げることは、建学の精神を鑑とし管理運営を行ってきたことです。本学の様に伝統のある私学は自主性とも言う建学の精神を有しています。建学の精神は、創立者原田林市先生が1923年に創立した岡山県生石高等女学校の教育三綱領「自律創生・信念貫徹・共存共栄」であります。そして私学は、建学の精神に共鳴した教職員が集まり、そこに醸し出された学風を慕って学生が集い学ぶところでもあります。したがって私は創立者の意志である建学の精神を継承するとともに教職員、学生、卒業生などと協同して学園を発展させ、高等教育の教育研究を高揚させることを使命とし、建学の精神については共通の理解を積極的に図り、学園全体を統一した教育実践の場とすることに努めてまいりました。

第二に上げることは、学生の学習成果の質保証です。学生の学習成果とは「大学で何を学んで、何を身に付けて、何ができるようになるか」ということを本学が事前に社会に表明したことで、本学に入学した学生が本学の教育課程を修了した時に獲得するものです。そのため本学には「①卒業認定・学位授与の方針、②教育課程編成・実施の方針、③入学者受入れの方針」という三つの方針を一体的に関連付けて定めています。三つの方針を点検しながら教育研究を進めることで本学が表明した学生の学習成果を獲得した人材の養成を図ることができます。学生の学習成果の質保証はこの三つの方針の点検を法令に照らして進めてきました。特に重要な点検は「②教育課程編成・実施の方針」です。教育課程編成・実施の方針とは、本学の人材養成の目的である管理栄養士、幼稚園教諭、保育士の免許や資格を取得するための授業科目と担当教員を法に則って編成し学生に対して教育研究を行う方針です。この方針に基づいて学生は授業を受けて試験による成績評価の判定を受けて卒業に必要な単位を修得して学習成果を獲得します。したがって各科目の授業を担当する教員は、科目で獲得する学生の学習成果に係る教育研究の業績が必要となるのです。学生の学習成果の質保証は授業科目の学習成果と教員の教育研究業績の内容との整合について年度ごとに点検し質の保証を図らなければなりません。免許や資格に関わる法律が改訂され同じ科目名でも得べき学生の学習成果が変更されると、担当教員にはそれに係る教育研究業績が求められるので、その際は教育研究業績を適切に判断した上で適任の教員を担当者として届けることになります。学生は授業料を払って学生の学習成果を獲得することを目的として本学で学んでいますので私は本学の教育の質保証を図るために教授会の適切な判断の下に学生の学習成果の質保証を図ってまいりました。

第三に上げることは、法令遵守に基づくガバナンスのある管理運営機能を強化し、常に自己点検・評価に基づく教育研究内容の充実・向上を図ることです。学生、卒業生は、本学で学習成果を獲得することを目的としています。そのため本学は学生の学習成果の質保証を図るために内部質保証のアセスメントポリシー（査定の方針）を定めて向上・充実を図ってきました。

平成30年11月26日付で「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」が中央教育審議会から答申されました。こ

の中で“高等教育が目指すべき姿”の見出しで、『高等教育が「個々人の可能性を最大限に伸長する教育」に転換し、「何を教えたか」から、「何を学び、身に付けることができたのか」への転換が必要となる。「何を学び、身に付けることができたのか」という点に着目し、教育課程の編成においては、学位を与える課程全体としてのカリキュラム全体の構成や、学修者の知的習熟過程等を考慮し、単に個々の教員が教えたい内容ではなく、学修者自らが学んで身に付けたことを社会に対し説明し納得が得られる体系的な内容となるよう構成することが必要となる。』と述べられており、私が前述した本学の「大学のあり方」として心がけてきた第一から第三の事項が【本学の2040年に向けたグランドデザイン】の基本であることを明白にしていることが分かります。

今後とも本学の学生の学習成果の質保証に際してご理解を賜りますよう同窓生諸氏のご協力を宜しく願います。



同窓会総会のお知らせ

第65回同窓会総会は、来る令和元年7月21日（日）の午前11時から倉敷ロイヤルアートホテルに於いて開催されます。今年は「1」がつく年の卒業生の方々（準備会）が当番です。お友達お誘いあわせの上、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

第65回同窓会総会準備会

平成 30 年度 同窓会役員

敬称略			
名誉会長	岡山学院大学学長 岡山短期大学学長		原 田 博 史
会 長	昭 和 4 2 年	保	中 塚 志 津 子
副 会 長	昭 和 4 1 年	保	森 上 敏 子
	昭 和 5 8 年	幼	平 松 弘 子
常 務 理 事	平 成 2 5 年	食	北 條 由 貴
	平 成 2 9 年	食	吉 田 楓
理 事	昭 和 5 8 年	幼	吉 井 理 恵
	昭 和 6 2 年	幼	高 岸 益 子
	平 成 7 年	幼	中 務 衣 都 子
	平 成 1 4 年	食	秋 田 文 恵
	平 成 1 8 年	食	山 口 泰 明
	平 成 2 0 年	食	平 野 聡
	平 成 2 4 年	食	岡 部 麻 耶
監 事	昭 和 4 4 年	食	井 頭 久 子
	昭 和 5 2 年	幼	西 早 苗
	平 成 1 5 年	幼	木 村 太 郎

本部便り

平成30年度 第1回理事会（平成30年5月12日）

- 平成29年度事業報告並びに収支決算報告が行われた。
- 平成29年度収支決算について「適正な処理がなされていた」と監査報告があった。
- 平成30年度事業計画案及び予算について事務局より案が出され、協議の上決定された。
- 平成29年度同窓会栄養士の会計報告がなされた。

平成30年度 第2回理事会（平成30年7月2日）

- 第64回同窓会総会・懇親会の役割が協議決定した。
- 総会次第及び総会の準備を行った。

平成30年度 第3回理事会（平成30年12月5日）

- 第64回同窓会総会・懇親会の報告及び決算について

報告があり、その後次回に向けての反省が行われた。

- 第65回同窓会総会・懇親会の開催場所及び日程について協議され、令和元年7月21日（日）に倉敷ロイヤルアートホテルにて開催することが決定した。
- ホームカミングデー（大学主催）が平成30年10月20日（土）に行われ、同窓会も平成25年から27年3月卒の同窓会員に案内状の発送協力をしたと報告があった。

第 64 回同窓会総会記録

平成30年7月22日（日）11時、原田博史学長をはじめ、他8名の先生方のご出席をいただき、倉敷国際ホテル（桜花の間）において、総会が開催された。

【第64回 同窓会総会】

- 開 会 司会：平松弘子副会長
- 会 長 挨拶 中塚志津子同窓会長
- 名誉会長挨拶 原田博史学長
- 来 賓 紹 介 平松弘子副会長より来賓紹介
- 来 賓 挨拶 久保豊子先生
- 物故者追悼（黙祷）
- 役 員 紹 介 役員自己紹介
- 議 長 選 出 伊東亨歩氏（平成30年食）
- 議 事

(1)平成29年度事業報告並びに決算報告

- 北條由貴常務理事、吉田楓常務理事
- ・理事会…年3回（平成29年5月、7月、12月）の開催
 - ・準備会…平成29年6月、平成30年3月開催
 - ・第63回同窓会総会・懇親会の開催（平成29年7月23日（日） 倉敷国際ホテル桜花の間）
 - ・同期会への補助
 - 昭和39年（保育科）
 - 平成19年（食物栄養学科、人間情報学科）
 - 平成29年（幼児教育学科）
 - ・同窓会報第39号発刊（平成29年4月）
 - ・ITリテラシー教育のための拠金（継続）
 - ・ホームカミングデー（大学主催）に協力
 - ・第4回同窓会栄養士の開催（平成30年2月10日（土） 研究大会：本学M501 懇親会：学生食堂）
 - ・会員現況調査の実施

(2)監査報告

- 木村太郎監事
- 「厳正なる監査を行ったところ適正なる処理ができていた」と報告された。

(3)平成30年度事業計画案並びに予算案



- 北條由貴常務理事、吉田楓常務理事
- ・理事会…年3回（平成30年5月、7月開催、12月開催予定）
- ・準備会…平成30年6月開催（第64回同窓会総会第2回準備会）
- 平成31年2月開催予定（第65回同窓会総会第1回準備会）
- ・第64回同窓会総会・懇親会の開催
（平成30年7月22日（日））
- ・同期会への補助 平成20年（食物栄養学科）
- ・同窓会報第40号発刊（平成30年5月）
- ・ITリテラシー教育のための拠金（継続）
- ・ホームカミングデー（大学主催）に協力
- ・第5回同窓会栄養士会の開催（平成31年2月9日（土）岡山学院大学岡山短期大学M棟4階 M401室）
- ・平成30年度の予算案について、全員異議なく了承された。

10. 同窓会栄養士会会計報告 岡部麻耶理事 （同窓会栄養士会運営委員）

- ・平成29年度会計報告がなされた。

11. ホームカミングデーのご案内 近藤彩香企画担当

12. 閉 会 森上敏子副会長

【同窓会懇親会】

平成30年度の同窓会総会及び懇親会は卒業年に「0」がつく年の同窓会総会準備会の運営で開催されました。9名の先生方と43名の卒業生が一同に集い、平成30年3月に岡山短期大学幼児教育学科を卒業した近藤優花さん、齋藤陽さんの司会進行で懇親会が始まりました。

齋藤陽（H30.3・幼）さんの開会挨拶後、竹原良記先生に乾杯をしていただき、皆様にぎやかに食事が始まりました。懐かしい同級生や来賓の先生方としばらく会話をしました。余興は原田博史学長先生のカラオケ＜テイミーホームカントリーロード＞から始まりました。続いて久保豊子先生のカラオケで水森かおりの＜松島紀行＞が歌われました。続いて平成20年食物栄養学科卒業の皆さんから近況報告をしていただいた後に、平成30年幼児教育学科卒業の皆さんからドラえもののダン

スを披露していただき、元気に踊って下さった姿に会場は大いに盛り上がりました。その後、平成30年食物栄養学科卒業の皆さんからエビカニクスを披露していただきました。浦上博文先生には、森昌子の＜せんせい＞を熱唱していただき、皆さん一緒に歌っていました。

最後に卒業年に「0」がつく当番年の参加者全員が舞台上に上がり、河原先生の伴奏で毎年恒例になっている＜旧校歌＞＜旧学生歌＞＜大学校歌＞＜短大学歌＞を大合唱しました。そして伊東亨歩（H30.3・食）さんの閉会挨拶により無事終了いたしました。

懇親会も倉敷国際ホテル桜花の間にてバイキング形式の自由席で開催いたしました。おいしい料理を囲み、同級生や、恩師の先生方と自由に懐かしい思い出話に花をさかせられていました。今回初めて参加したという同窓生の方もいらっしゃいましたがとても楽しんでいらっしゃいました。まだ同窓会総会・懇親会に参加されることがない皆様、久しく参加されていない皆様、毎回楽しく会を開いておりますのでぜひ参加してください。お待ちしております。

ご出席いただきました先生方は、原田博史学長、久保豊子先生、竹原良記教授、宮崎正博教授、狩山玲子教授、浦上博文教授、村上祥子准教授、河原真理講師、原田俊孝総務課長でした。ご参加ありがとうございます。次回もまたご参加いただき、同窓生と楽しい一時を過ごしていただければと思います。



第64回懇親会会席



第64回懇親会 乾杯の様子



第64回懇親会余興 (H30年食物卒)



第64回懇親会余興 (H30年幼教卒)



旧校歌・旧学生歌・大学校歌・短大学歌合唱

平成 20 年食物栄養学科卒 同期会

食物栄養学科3期生は大学を卒業して今年で10年の節目となります。私達の世代は遠方から倉敷市へ下宿し大学へ通う者が多かったこともあり、倉敷市内での同期会開催において参加者が集まるか不安でした。しかし、その中で12名もの参加者が集まることができ、楽しい時間を過ごすことができました。

同期会は2時間程の短い時間ではありましたがそれぞれの仕事のことや家庭のことなど近況について報告し合

いました。卒業アルバムを持ち込んだこともあってか、大学時代の記憶が蘇り、寮生活やサークル活動、そして学外実習などの思い出話に花を咲かせました。卒業して10年も経っているのですが、会えばあっという間に学生時代に戻り、交流を喜び合える素晴らしい会となりました。

私達の世代は栄養士として第一線で活躍する者もいれば、仕事を辞め育児に専念する者もありますが、大学で学んだ栄養や食品の知識は人生を豊かにするために確かに生きています。4年間という短い時間を岡山学院大学で過ごすことで必要な知識と素晴らしい友人を作ることのできたことを改めて喜び合える一日となりました。

今回来れなかった同期生の皆さん、また是非集まりましょう。

平成20年 食物栄養学科卒 平野 聡



人間生活学部 食物栄養学科 卒業研究発表会

平成30年8月9日(木)、本学情報処理教育センター3階D302教室において食物栄養学科「卒業研究Ⅰ」の発表会が行われた。内容は以下の通りである。

〔発表題目および発表者〕

「キトサンのはたらき」	角南真輝
「シトルリンのはたらき」	田邊美砂
「ケルセチンのはたらき」	西本菜由
「オルニチンのはたらき」	濱田真衣
「ページュ細胞のはたらき」	森本麻衣子

(研究指導：宮崎正博教授)

「単独がん患者と比較した多重ガン患者の遺伝子解析」

谷本芹奈

「年齢・性別によるがん罹患率の調査」

西尾優花

(研究指導：清水憲二教授)

「食物アレルギーの子どものための親子料理教室の開催への取り組み」

榎本紗衣

「食物アレルギーの子どものための親子料理教室の開催への取り組み」

金本奈々

「食物アレルギーの子どものための親子料理教室の開催への取り組み」

田淵鈴音

「食物アレルギーの子どものための親子料理教室の開催への取り組み」

相原壮貴

「食物アレルギーの子どものための親子料理教室の開催への取り組み」

小谷知怜

(研究指導：中原眞由美講師)

「食品衛生管理に関する研究-食中毒の発生状況-」

山口佑未

「食品衛生管理に関する実験研究-1」

喜田孝央

「食品衛生管理に関する実験研究-2」 浅野瑞貴
「食品衛生管理に関する実験研究-3」 大西思歩レイチェル
(研究指導：狩山玲子教授)
「日焼けとそのケアについて」 岡岡里奈
「内臓脂肪の減らし方」 林滉之
「食後高血糖を防ぐにはどうする」 八木麻友美
「アトピーと食べ物」 富吉雅美
(研究指導：竹原良記教授)
「地域在住高齢者におけるフレイルとその関連因子の検討」 山崎芙美香
「高齢者女性における胃切除後の身体状況に関する検討」 廣瀬純也
「T高校におけるソフトボールチームの食事摂取状況に関する検討」 平尾聡佳
「女子ラグビー部に所属している高校生の身体状況および食生活についての検討」 飯島夏未
(研究指導：平野聡助教)



幼児教育学科 子どもといっしょに発表会

平成30年12月7日(金)、本学体育館において「子どもといっしょに発表会」が開催された。倉敷市内の幼稚園、保育所、施設などから多数の子どもたちを招き、賑やかな会となった。プログラムは以下の通りである。

〔プログラム〕

○発表

《吹奏楽演奏》 研究指導：井上充隆講師
となりのトトロより

- 1.さんぽ
- 童謡メドレーより
- 2.おもちゃのチャチャチャ 3.いぬのおまわりさん
- 4.ジングルベル

《オペレッタ》 研究指導：藤井真理教授
シンデレラ

《コーラス》 研究指導：大羽敬子講師
「シンデレラ」より

- 一緒に歌おう 1. ビビディ・バビディ・ブー
「ニューヨーク・ワールド・フェア」より
リズムで遊ぼう 2. 小さな世界

《オペレッタ》 研究指導：藤井真理教授
桃次郎

《幼児ダンス》 研究指導：藤井真理教授
U.S.A

《オペレッタ》 研究指導：藤井真理教授
小人のくつや

○遊びの広場

《手作り遊具コーナー》 研究指導：関野智子講師
「みんなで大きなクリスマスツリーを作ろう」「迷路で遊ぼう」「バイキンをやっつけよう!!」

《おはなしのコーナー》 研究指導：浦上博文教授
絵本の読み聞かせ「そらめくんのベッド」

紙芝居

「なにながつくれるかな」「だんごむしのころちゃん」
「おかあさんまだかな」

エプロンシアター

「おむすびころりん」「おおきなかぶ」「おおかみと7ひきのこやぎ」



幼児教育学科 卒業研究発表会

平成31年1月11日(金)、本学情報処理教育センター3階D302教室において卒業研究発表会が行われた。内容は以下の通りである。

〔発表題目および発表者〕

卒業研究「言葉」(研究指導：浦上博文教授)

「幼児の言葉を育てる保育者をめざして」
大宮さくら 大本陽菜 寺下朋佳

卒業研究「教育学」(研究指導：都田修兵講師)

「早期教育の現状と課題」
中田ひな 那賀悠香 萩原健太 丸山莉央 村上舞
吉田千乃

卒業研究「図画工作」(研究指導：関野智子講師)

「子どもが主役の活動計画～子どもと一緒に発表会を

中心に～」

風早裕加 小林里緒 竹入穂歌 竹林玲菜 野波利奈
三嶋愛 山下聖奈 倉田実侑 上野友佳里 梅知里
野島由貴 星野里歩

卒業研究「表現」(研究指導：藤井真理教授)

「卒業研究を通して得られた学習成果－PDCAサイクルに基づいて－」

江田優香 佐藤良恵 沢田菜月 森本結稀

卒業研究「幼児と音楽」(研究指導：大羽敬子講師)

「『子どもといっしょに発表会』コーラス発表の取り組み－音楽表現の楽しさを子どもたちと共有できる発表をめざして－」

池田晴香 井上綾乃 大河内里奈 宮田幸江 森上彩乃

卒業研究「吹奏楽」(研究指導：井上充隆講師)

「子どもと楽しむ音楽」

稲井利恵 岡拓哉 見分ひなの 安井絵羽 吉崎理奈

卒業研究「社会」(研究指導：尾崎聡教授)

「『古事記』神話における「ヤマタノオロチ」伝説－児童文化財「ペープサート神楽」化への試み－」

神原由圭 小幡奈津実 高上優月 高津由衣斗

卒業研究「児童心理学」(研究指導：大賀恵子講師)

「触覚と心地良さについての一考察」

大村晏世 近藤舞香 坂手悠渚

卒業研究「英語」(研究指導：濱田佐保子教授)

「幼児期における英語活動～ペープサートを使って～」

秋山葵 日野原舞実 平松里穂 山本麻由

卒業研究「情報」(研究指導：原田俊孝講師)

「保育業務でのパソコンの利用状況について－情報機器の利用状況調査と考察－」

平岡凌弥 土井政紀 是枝峻太 國貞歩 須江まみ

幼児教育学科 子どもといっしょに運動会

平成30年5月25日(金)、本学体育館において「子どもといっしょに運動会 忍者の修行に行こう!」が開催された。倉敷市内の幼稚園、保育所、施設などから多数



の子どもたちを招き、賑やかな会となった。プログラムは以下の通りである。

〔プログラム〕

準備運動(動物のまねっこ かけっこ でんでんむし 川跳びなど) クモの巣ぬけ 抜け穴くぐり 抜け穴掘り 手裏剣 壁抜けの術 屋根ばしり 抜き足・差し足 忍者検定試験 子育て相談コーナー など

『同窓会 50 年の歩み』 記念誌のご案内

なつかしい学生時代の様子や校舎の写真が詰まった同窓会50周年記念誌(平成15年10月発行)はいかがですか?

○販売期間：在庫の限り

○価 格：800円(記念誌¥500 + 送料¥300)

○申込方法：郵便振替(郵便局にてお振込みください。)

口座番号：01220 - 5 - 4076

加入者名：岡山学院大学岡山短期大学同窓会

通 信 欄：「『同窓会50年の歩み』希望、ご住所、お名前、電話番号」をご記入ください。(領収書は大切に保管ください。)



【お問い合わせ先】

岡山学院大学岡山短期大学同窓会事務局

〒710-8511 岡山県倉敷市有城787

TEL:086-428-2651

岡山学院大学・岡山短期大学 後援会事業報告

1. 概要

・岡山学院大学・岡山短期大学後援会

平成29年度理事

(岡山学院大学 12名 岡山短期大学 8名)

・設置する学校・学部・学科

岡山学院大学 人間生活学部 食物栄養学科

岡山短期大学 幼児教育学科

・当該学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況

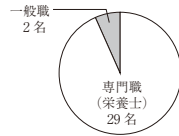
(平成29年5月1日現在)

学校名	学部・学科等名	開設年度	入学定員	収容定員	現員	備考
岡山学院大学	人間生活学部 食物栄養学科	年度 H14	人 40	人 160	人 117	H22 定員変更 100→40
	計		40	160	117	
岡山短期大学	幼児教育学科	年度 S33	人 100	人 200	人 160	H22 定員変更 150→100
	計		100	200	160	

平成30年3月卒業生就職状況

【岡山学院大学】人間生活学部 食物栄養学科

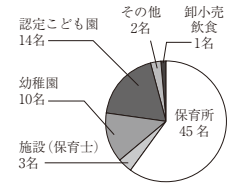
卒業生数	33名
就職希望者数	31名
専門職（栄養士）	29名
一般職	2名
進学	1名



【岡山短期大学】幼児教育学科

卒業生数	78名
就職希望者数	75名
保育所	45名
施設（保育士）	3名
幼稚園	10名

認定こども園	14名
その他	2名
卸小売飲食	1名
進学	3名



教職員数

	法人	岡山学院大学	岡山短期大学	合計
専任教員	0	16	14	30
専任事務職員	1	7	10	18

兼任及び非常勤教職員数

	岡山学院大学	岡山短期大学
兼任教員	10	3
非常勤教員	9	12

2. 事業の概要

事業	概要・目的
校舎内清掃代の助成	各棟清掃代金の助成 3,090,029円
無料通学バス運行費用の助成	倉敷駅前（7番乗場） ～本学A棟前間の無料直行バス運行 （登校時2便・下校時3便） 平成29年度 運行日数 197日、 延べ 27,851人乗車 無料通学バス運行費用の助成 9,574,200円
課外活動に対する助成	・ 第9回地域訪問栄養長寿教室 学生移動用貸切バス代助成 32,400円 栄養診断測定機器運搬用 レンタカー代 助成 14,472円 同上レンタカーガソリン代 325円 （平成29年7月8日（土）） ・ 第10回地域訪問栄養長寿教室 学生移動用貸切バス代助成 41,040円 栄養診断測定機器運搬用 レンタカー代 助成 14,472円 同上レンタカーガソリン代 249円 （平成29年10月14日（土）） ・ 平成29年度 児島地区食育栄養まつり参加 学生移動用貸切バス代助成 54,000円 （平成29年11月19日（日））

岡山学院大学・岡山短期大学 ITリテラシー教育のための拠金者一覧

（平成30年1月～12月の拠金者）

卒業年・学科	氏名	（旧姓）
S32	岡田 登代子	（景山）
S33	松川 ミチエ	（谷川）
S34	川口 洋子	（小早川）
S34	西井 月美	（桧垣）
S34	村上 満智子	（丹下）
S39	岩田 典子	（藤井）
S39	出口 ヤウ	（寺沢）
S40	小林 慶子	（渡辺）
S40	佐藤 光江	（小畑）
S40	弓場 則子	（岡野）
S41	小森 禎子	（宮本）
S42	安田 三代子	（松浦）
S43	若狭 福子	（沖田）
S43	三好 千枝子	（花田）
S44	湯畑 富貴恵	（弓井）
S44	山本 真理子	（山本）
S52	中土井 悦子	（佐藤）
S52	竹ノ下 圭子	（天野）
S58	平松 弘子	（三浦）
S62	澗口 昌子	（藤本）
S62	高岸 益子	（野瀬田）
H2	杉原 美奈子	-
H18	橋本 明美	（中山）
H20	中西 緩奈	（那佳）
H23	川井 智絵	-
H30	西本 一央	-

拠金内訳	
10,000円 × 5名	50,000円
5,000円 × 19名	95,000円
3,000円 × 2名	6,000円
合計	151,000円

**岡山学院大学・岡山短期大学
ITリテラシー教育のための拠金の御礼
および拠金継続について**

母校のITリテラシー教育の益々の発展を支援するため、一千万円を目標に拠金を継続してまいりました。下記の通り、多数の方々のご協力を得ましたこと、発起人一同心より御礼申し上げます。

しかし、下記のように未だ目標額には遠くおよびません。拠金は、継続して積み立てることになっておりますので、今後も皆様の温かいご支援をいただき目標額を達成するべく、拠金の受付をいたしますので、何とぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、平成19年度に、第1回目の贈呈（図書館ノートPC12台＜300万円＞）を行っています。

拠 金 総 額

年 度	拠 金 額	振込手数料	累 計
平成14・15年度	1,927,624円	16,220円	1,911,404円
平成16年度	590,000円	4,420円	2,496,984円
平成17年度	363,000円	4,430円	2,855,554円
平成18年度	280,000円	3,930円	3,131,624円
平成19年度	335,000円	4,920円	3,461,704円
平成20年度	287,000円	5,360円	3,743,344円
平成21年度	202,000円	0円	3,945,344円
平成22年度	215,000円	0円	4,160,344円
平成23年度	210,000円	0円	4,370,344円
平成24年度	1,190,000円	0円	5,560,344円
平成25年度	133,000円	0円	5,693,344円
平成26年度	138,000円	0円	5,831,344円
平成27年度	113,000円	0円	5,944,344円
平成28年度	156,000円	0円	6,100,344円
平成29年度	219,000円	0円	6,319,344円
平成30年12月末現在	151,000円	0円	6,470,344円
合 計			6,470,344円

※平成21年度より拠金にかかる振込手数料は、決算書の支出科目に手数料支出を設けそちらで管理することとなりました。

拠金発起人一同

平成29年度 収支決算書

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

収 入 の 部	
科 目	決 算
繰越金	280,168
当年度新入会員会費受入収入	1,545,000
翌年度新入会員会費	2,245,000
総会費	260,000
50年の歩み冊子収入	2,900
拠金収入	219,000
雑収入	4,518
同窓会館準備費払戻	10,000,000
合 計	14,556,586

支 出 の 部	
会議費	343,737
交通費	62,274
印刷費	887,355
通信費	995,782
慶弔費	24,000
消耗品費	20,373
手数料支出	6,802
同窓会栄養士会助成費	81,500
管理栄養士受験支援	79,860
予備費	
翌年度新入会員会費支払支出	2,245,000
次年度繰越金	9,809,903
合 計	14,556,586

中国銀行スーパー定期	6,000,000
笠岡信用金庫定期預金	5,000,000